

推薦文

私のふるさと「日本」の先人たちが残した、世界に誇る素晴らしい宝物の一つ、それが「緑茶・green tea」です。

それは単なる「緑茶飲料」としてでなく、日本人の食文化や、いわゆる“わび”“さび”という言葉に代表される、日本人の精神構造をも創りあげてきたからです。

日本における緑茶の歴史は、今から約800年前に栄西禅師により、中国から茶の種子を持ち帰ったのが始まりとされ、当時は薬草として病人でない口にすることができない程の貴重品でした。しかし、我々現代人にとっては、嗜好品としてあまりにも身近な物のため、長い間、緑茶の持つ真の価値を見直すことがありませんでした。

20世紀後半以来、動物性食品や酪農食品、また化学的合成食品などが社会に広がっている現在、無農薬で栽培された緑茶は、それらの害を中和するのに極めて有効であることがわかってきました。

“昔、緑茶は薬草だった”。この「原点に戻る」との発想から生まれた、世界に唯一、ユニークな株式会社三和の緑茶製品は、日本国内でも非常に少ない、有機栽培された本物の緑茶だけを原料に作られた製品で、800年の時を超えて、現代に蘇り、図り知れない可能性を秘めたオーガニック製品です。

これは日本古来の食品、食生活を基本としたマクロビオティックの考え方に合致するものであり、世界の人々が待ち望んでいた奇跡の製品です。

私はここに三和CHACHA製品を推薦し、そして、この製品が世界中の人々の健康に役立ち、牽いては世界平和に役立つものであると期待しています。

2004年10月30日

One peaceful world !

久 司 道 夫